

1.長期成長ビジョン

精密メカトロニクス技術を強みとし、医療機器・半導体製造装置の発展を通じて、世界の人々の健康と幸福に貢献し、売上高160億円(現状の2倍)を目指して地域の雇用創出と持続的な賃上げを実現する

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

精密メカトロニクス技術を強みとして、売上高160億円を実現

- ✓ 医療機器・半導体製造装置の発展を通じて世界の人々の健康と幸福に貢献する
- ✓ 補助事業を通じて、事業基盤を強固にし更に医療事業へ投資を行い事業規模を現在の約2倍の160億円へ成長させる

補助事業

- ✓ 本補助事業では、医療機器事業の製造拠点において、新工場の建設と工程の効率化を行い、さらなる拡大を図る
- ✓ 生産能力の増強と生産効率の向上を両立させることで労働生産性の飛躍的な向上が見込まれ持続的な賃上げを実現する

現在の状況

- ✓ 当社は大きくわけて医療機器の開発・製造と半導体製造装置の開発・製造の2つの事業を展開している
- ✓ 半導体製造装置事業は継続的な設備投資を行っており、景気動向の回復に伴う増産体制の整備が完了している
- ✓ 医療機器の受託開発・製造事業は製造拠点の老朽化が深刻で取引先からの増産要請にも対応することができない

※2023年度とは
2024年6月期決算

| | 2023年度 (直近年度) | 2026年度 (基準年度) | 2029年度 (最終年度) |
|-------|------------------|------------------|------------------|
| 売上 | 76億円 | 95億円 | 160億円 |
| 営業利益 | 0億円 | 8億円 | 40億円 |
| 付加価値額 | 28.2億円 | 39億円 | 79億円 |
| 賃上げ率 | — | 2.0~3.0% | 6.0% |

外発的動機

【医療機器事業】

- 世界的な人口増加・高齢化に伴い、医療機器へのニーズが増大
- 医療機器事業の国内取引先は拡大する海外市場でのシェア獲得を目指しており、当社に対して大幅な増産要請を行っている
- 海外メーカーからの引き合い、取引も拡大している

【半導体製造装置事業】

- 半導体市場は上昇局面に移行する見込みで、これまでの継続的な投資の成果により売上高の増加が見込まれる

医療機器事業における取引先からの増産要請と 世界的な人口増加に伴うさらなる海外展開の可能性

内発的動機

- 当社は70年以上の間、医療機器市場において安定的に事業成長を続けており、生産体制を充実させ、今後より一層、世の中の人々の健康に貢献したいと考えている。
- 当社の主力事業である医療機器事業に係る製造拠点は設備の老朽化等が深刻化しており、これ以上の拡大は難しい
- 半導体製造装置事業への継続的な投資と合わせ、2027年度までに会社全体の売上高100億円の実現を目指している
- 医療機器事業へ大規模な投資を行っていくことで、売上高100億円の実現だけでなく、その先の成長を目指す

売上高100億円のその先の160億円への成長を目指す

2.補助事業の概要

宮城工場、青森工場に新建屋を建設し生産効率の向上を図ることで、医療機器事業の生産能力を2倍に増強し、国内医療機器メーカーからの増産要請への対応と海外医療機器メーカーへの製品提供も展開・拡大する

| | | | |
|------------|---|---|----------------|
| 補助事業の背景・目的 | <ul style="list-style-type: none"> 医療機器事業において、複数の取引先メーカーから増産要請を受けているものの製造工場の老朽化が深刻化しており対応することができない 本事業では、医療機器事業に係る製造工場の生産能力を大幅に増強することで増産要請への対応だけでなく、新規取引先への供給も目指す | 事業費(補助額) | 66億円 (16億円) |
| 実現する内容 | <ul style="list-style-type: none"> 本事業では、医療機器事業に係る製造工場の生産能力を増強し、主要取引先からの増産要請に対応するとともに、新規取引先を含め、高付加価値な製品を安定的に供給する さらに当社グループの中国法人に対しても製品の供給を行うことで、さらなる事業拡大を図る 上記を実現することで労働生産性の飛躍的な向上を図り、持続的な賃上げによる従業員への還元を行う | | |
| 設備投資の内容 | <p>宮城工場</p>  <p>青森工場</p>  <ul style="list-style-type: none"> 宮城工場は加工組立一貫生産ラインの生産能力を2倍に増強する 15,500m²の新建屋を建設し、工場面積を現在の2倍に拡大させ、新建屋には最新の生産設備を導入して生産効率の向上を図る 開発エリアを充実させ、製品開発に使用する設備も設置し、開発・設計スピードを上げて高付加価値の製品を開発できる体制を整備する 旧建屋では自社製品である眼鏡検査機器の製造ラインを再構築することで生産効率の向上と生産能力の増強を図る 青森工場は小物部品の製造工場としてグループ全体に精密部品の供給を行うことに加えて、周辺地域の取引先から新規受注も積極的に行う 具体的には2,000m²の新建屋を建設し工場面積を現在の2倍に拡大させ、新建屋は保温性の高い構造にすることで精密部品加工が可能な環境を構築する |   | |

| 目標数値 | ライトグループ全体 | | ライト製作所（申請者）* | | 青森ライト | | 東北ライト製作所 | |
|----------------|-----------|-----------------------|--------------|-----------------------|---------|-----------------------|----------|-----------------------|
| | 2026年度 | 2029年度 | 2026年度 | 2029年度 | 2026年度 | 2029年度 | 2026年度 | 2029年度 |
| 労働生産性 | 556万円/人 | 1,281万円/人 | 5,916万円/人 | 25,437万円/人 | 440万円/人 | 644万円/人 | 403万円/人 | 708万円/人 |
| 従業員1人あたり給与支給総額 | 339万円/人 | 405万円/人 (年平均+6.0%) | 429万円/人 | 511万円/人 (年平均+6.0%) | 354万円/人 | 422万円/人 (年平均+6.0%) | 334万円/人 | 398万円/人 (年平均+6.0%) |
| 役員1人あたり給与支給総額 | - | - | - | - | - | (年平均+6.0%) | - | (年平均+6.0%) |
| 補助事業の従業員数 | 368人 | 416人 | 10人* | 10人* | 63人 | 79人 | 295人 | 327人 |

* ライト製作所本社在籍で東北ライト製作所に勤務する海外実習生+指導者